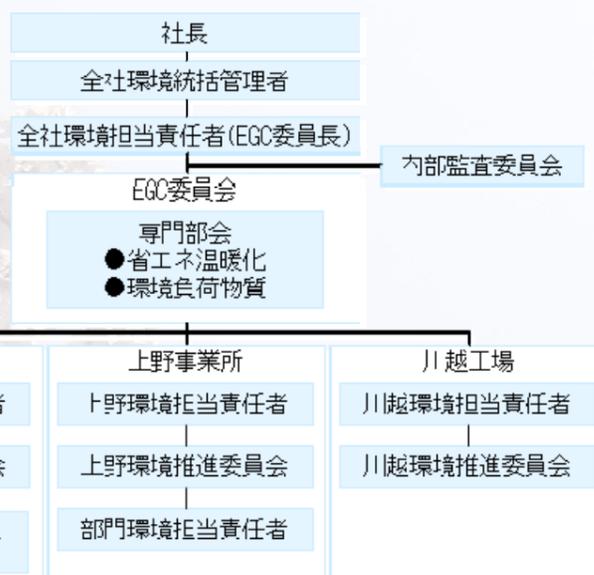


環境マネジメント

■ 環境マネジメント体制

エクセディでは、全社環境担当責任者を委員長とするEGC委員会（EGC:EXEDY Global Clean）を中心にマネジメント体制を構築し、全社環境方針の策定や活動状況の管理を実施しています。



JQA-EM0901

2011年度実績と2012年度目標

項目	2011年度		2012年度
	目標	実績	目標
省エネ活動 ・1990年度比CO ₂ 排出量7%減 ・原単位※120%減 (2008年～2012年度5年間平均値で評価)	原単位 :38.1トン-CO ₂ /億円	原単位: 前年度比4%減 40.1→38.7トン-CO ₂ /億円	原単位 :38.0トン-CO ₂ /億円
3R※2の推進 「新ゼロエミッション」達成	原単位:前年度比3%減 産廃排出量:0.15トン/ 億円	原単位: 前年度比11%増 0.16→0.17トン/億円	原単位:前年度同一目標 産廃排出量:0.15トン/億円
	リサイクル率:98%	リサイクル率:94%	リサイクル率:98%
環境負荷物質の削減・廃止及び管理	※3 PRTR法に基づく管理	行政及び部工会※4 へ報告	PRTR法に基づく管理
車両の燃費向上に貢献する製品開発	2次試作の評価と量産移行・受注の獲得	量産納入済み	低燃費製品第2段量産開始
環境負荷物質の削減 (有害物質の全廃)	補修部品の6価クロム・鉛廃止推進の継続	6価クロム順次廃止 継続中	補修部品の6価クロム・鉛廃止 推進の継続

※1 原単位:CO₂排出量/売上高 ※2 3R:リデュース・リユース・リサイクル ※3 PRTR法:化学物質の排出・移動量届出制度 ※4 部工会:日本自動車部品工業会

■ 環境会計 ～環境活動への費用・投資～

環境に対する取り組みを効果的に推進していくために、環境保全コストとその活動により得られた環境保全効果と経済効果を表しています。

2011年度環境保全コスト

(単位:百万円)

コスト項目	投資	費用	主な取り組み内容
公害防止	92	71	浄化槽増強, 土壌浄化
地球環境保全	415	1	太陽光発電パネル・高効率照明・高効率空調導入
資源循環	0	95	廃棄物処理・リサイクル処理
管理活動	0	17	環境月間イベント, ISO更新審査
研究活動	0	178	低燃費化製品・再資源化材料の開発, 軽量化
社会活動	32	24	事業所内の緑化, 防災公園の設置
合計	539	386	
総計		925	

環境保全に伴う経済効果と物量効果

<経済効果>

(単位:百万円)

効果項目	2009年度	2010年度	2011年度
CO ₂ 削減の低減	17	103	49
廃棄物処理費用の低減	41	0	14
有価物の売却	582	1,014	881
合計	640	1,117	944

<物量効果>

効果項目	2009年度	2010年度	2011年度
産業廃棄物排出量※5	500トン	172トン	194トン
CO ₂ 排出量	37.5千トン-CO ₂	43.7千トン-CO ₂	43.2千トン-CO ₂

※5 産業廃棄物排出量は、リサイクル分除く

■ 環境監査 (ISO14001)

部門自主監査、定期内部監査、外部機関による審査の3段階による監査及び審査を実施しています。

ISO14001定期審査

2011年5月24日～27日の4日間にわたり、JQAによるISO14001定期審査が行われました。今回の審査では「省エネ7つの着眼点」に基づいた活動などが高く評価されました。今回指摘を受けた項目については、各部門へ水平展開し、さらなるシステムの改善を進めます。

<<審査及び監査結果>>

年度	年度	重大な不適合	軽微な不適合	改善の機会
		2011	定期審査 (2011/5月)	0件
	内部環境監査 (2012/3月)	1件	16件	47件